

# 温暖化防止ながれやま便り

第22号 2017年3月

NPO 温暖化防止ながれやま

代表 春田 育男

流山市美田 69-57

編集 石垣 幸子

## 第4回市民環境講座（平成29年2月）

### みんなで楽しく考えよう！「地球温暖化」

平成29年2月4日（土曜日）、生涯学習センター（流山エルズ）で第4回市民環境講座「みんなで考えよう！地球温暖化～命を守るための気象情報～」が行われ、230人の参加者でホールがいっぱいになりました。

#### 第1部：流山クールチョイス宣言

「クールチョイス」は、国が提唱する地球温暖化対策で、省エネだけでなく、日本の優れた技術を生かしての温暖化対策につながる製品



やライフスタイルやサービスを選ぶことで、家計や、健康面でも得をするという「賢い選択」という意味である。公共交通機関や自転車などCO<sub>2</sub>の少ない移動の「スマートムーブ」、服装や設定温度で省エネを目指す「クールビズ」や「ウォームビズ」など従来の取り組みも含む。

井崎市長、これから講演をしていただく寺川奈津美気象予報士、前環境政務次官で現在農林水産副大臣の齋藤健氏の3人に「流山クールチョイス宣言」をしていただいた。そして緑のシールにそれぞれご自分の宣言を書き、それを大きな木が描かれたパネルに貼り付けた。井崎市長の宣言は「節電、グリーンカーテン」寺川さんは「エアコン省エネ」齋藤副大臣は「地産地消」であった。その後、会場の皆さんにも「クールチョイス宣言」をしていただき、3枚あった大きな木のパネルはたちまちにみどりの宣言の葉を茂らせた。

#### 第2部：命を守るための気象情報

寺川奈津美さんをお迎えして「命を守るための気象情報」を講演していただいた。気象予報士で防災士の資格をも持つ寺川さんは、昨年度まで「NHKニュース7」の気象情報を担当し、4月からは「直撃 LIVE グッディ！」で活躍する。



寺川さんは、地球温暖化の話から、近頃頻発している様々の気象災害、被害を受けた現場の声を取材。その経験から、気象災害から身を守るための対策などを講演された。そして気象予報士として人の命の大切さ、命を守る情報を伝えていきたいと話された。この後、寺川奈津美著「はれますように～未来はきっと変えられる～」のお楽しみ抽選会、寺川さんから番号が読み上げられ、当選の10名はそれぞれクールチョイス宣言を発表し、本を受け取った。

#### 第3部：映画「ビューティフル アイランズ」



# CO<sub>2</sub>ダイエット宣言

## おおたかの森南口のキンモクセイ 記念のポール再生

おおたかの森駅の改札を出て、南口のエスカレーターを降りた脇に大人の背の倍もありそうなほどの大きなキンモクセイがある。

平成18年4月、温暖化防止ながれやまが参画する環境シンポジウム千葉会議実行委員会のテーマ「ストップ温暖化、千葉からアクションを」の取り組みの一つとして、CO<sub>2</sub>のダイエット宣言を広めていこうとはじめられたもので、CO<sub>2</sub>ダイエット宣言をした温暖化防止ながれやまに宣言委員会(環境省、経済企画省など)からキンモクセイの苗木が贈られ、4月29日、会員たちの手で記念の植樹をした。

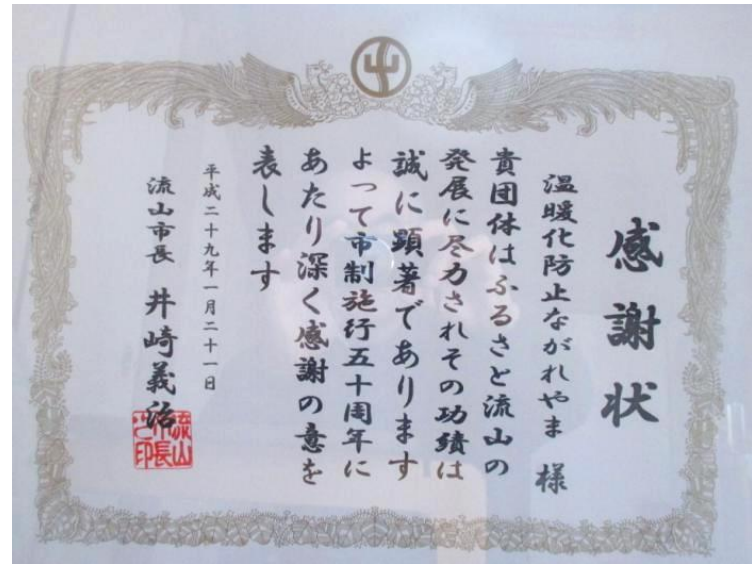
以来、ダイエット宣言のキンモクセイは緑の葉を茂らせて大きく成長したが、植樹の時に建てられた「CO<sub>2</sub>ダイエット宣言」の記念ポールが長い年月の間に老朽化してしまった

平成29年2月4日(土) 昨今の地球温暖化や異常気象を見据えて、改めて「CO<sub>2</sub>ダイエット宣言」の新しいポールを再建立した。



## 流山市長から

## 「感謝状」を贈呈される。



平成29年1月21日(土)、流山市文化会館において「流山市市政施行50周年式典」が開催されました。昭和42年1月1日、流山市は、千葉県下20番目の市として誕生しました。当時約4万3千人だった人口は、昨年12月に18万人を超え、街も大きく変わりました。

当会は、式典において流山の発展に尽力されたとして流山市長から感謝状を贈呈されました。



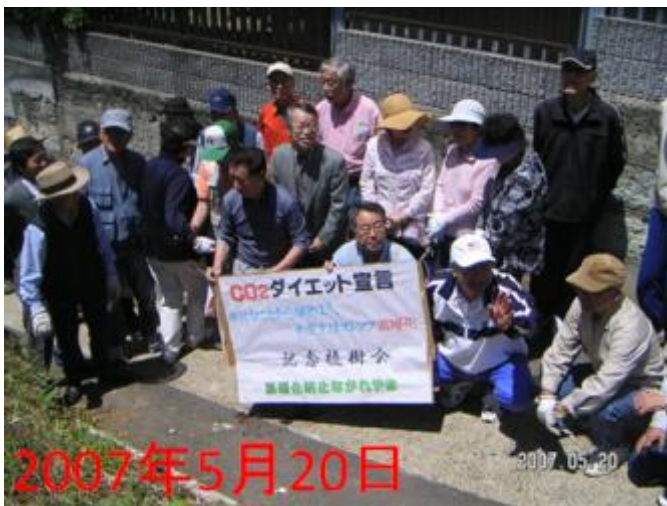
## 第3回出前講座

# 前ヶ崎自治会（白寿会）で「地球温暖化防止の話」

平成29年2月12日（日）10時から約1時間、前ヶ崎自治会館で出前講座が開催された。集まって頂いたのは、前ヶ崎自治会（白寿会）31名の皆様でした。

講師は、前ヶ崎出身で参加者の顔見知りが多い当会副代表の笠原久恵でした。講演内容は「地球温暖化防止の話」。第1部「CO<sub>2</sub>ダイエット宣言記念植樹」として平成19年5月に前ヶ崎地区に植樹した木が生長するにつれCO<sub>2</sub>を吸収しているとし、自然豊かな街をいつまでも残したいと話した。

<平成19年5月:前ヶ崎地区>



<平成27年3月:前ヶ崎地区>



第2部「地球温暖化の原因とその影響」でビデオを上映。第3部「家庭に於ける省エネ・節電の進め方」家庭で使われているエネルギーの約半分は熱として使われていること。また、家庭のエネルギーの約半分は電気で節電することが大切とし家電製品の上手な使い方・選び方などを説明。最後に「出来ることからやる」「無理をしない」でとし下記を宣言した。

私たち一人ひとりが省エネ・節電を心がけて地球を守っていこう!!

# 新川耕地の物流センターでは太陽光発電が続々と…

## 太陽光発電の補助金が事務所・集合住宅へと拡大！

会員:楠山栄子

流山・新川耕地で続々と大規模物流センターが建設中で、それぞれに太陽光発電が設置されつつあります。株式会社日本ベネックス(本社:長崎県)は、2010年にオープンした物流施設「ロジポート流山B棟」の屋根を賃貸し、2014年10月、メガソーラー発電所「ベネックス流山ソーラーポート」の運転を開始しました。屋上屋根2万3000平方mに8300枚の太陽電池モジュールを設置しています。出力は2200kwで、単独物件の屋根借りメガソーラーとしては国内最大級の出力。年間予想発電量は215万kw時(一般家庭約600世帯分)相当です。

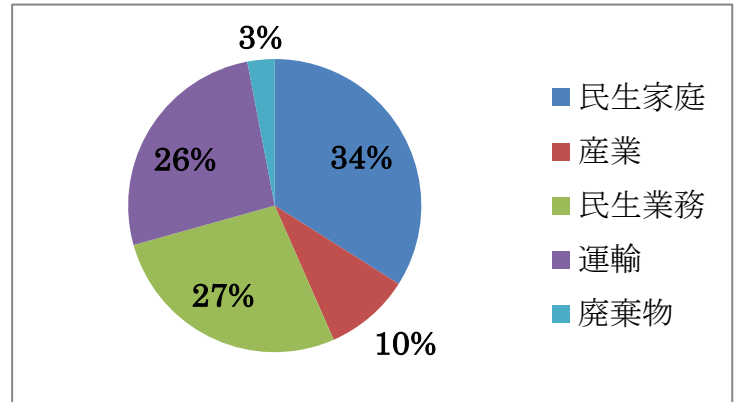


(株) 日本ベネックスのHPより

また、グローバル・ロジステック・プロパティーズ株式会社(本社:東京都)は、今建設中の国内最大規模の物流センター“GLP 流山”において、「太陽光発電、燃料電池を利用するクリーン電力によって、施設の共用部に加え一般的な倉庫利用の場合の専有部の日中の電気代をほぼ賄える予定で、CO<sub>2</sub>低排出と併せて、ローエミッション物流施設の実現を目指します」(GLPのHPより)と発表。

流山市内でこうしたメガソーラー太陽光発電を設置すれば、CO<sub>2</sub>削減に大きく貢献します。

下のグラフは流山市域の平成25年度部門別CO<sub>2</sub>排出量推計(年間:約45万トソ-CO<sub>2</sub>)です。



ここで産業と民生業務部門を市内事業者という枠でまとめるとCO<sub>2</sub>排出量が一番多いのが市内事業者です。流山市は、これまで個人住宅を対象に、太陽光発電設置の普及に努めてきました。しかし、流山市域のCO<sub>2</sub>排出量を低減するためには、市内事業者の協力が必要です。そこで、流山市では平成29年度より「太陽光発電設備設置の補助金対象枠を事業所、集合住宅まで拡大する」としています。

市内事業所の太陽光発電設置がどんどん普及することを願っています。

### 編集後記

今朝、オーストラリアに史上最強の暴風雨が襲っていて、住民に避難を呼びかけているというニュースが飛び込んできた。ようやく春が来たと思ったら台風の季節が間近！ 年々巨大になってくる台風に戦々恐々としている。

埼玉県は年間を通して晴れる日が全国で一番多いという。千葉県の中でも内陸のこのあたりは晴れる確率が高いのだろう。せっかくの太陽の恵みである。

電力が自由化され、「時々うちの電力を」と電話が入るようになった。が発電エネルギーは太陽光ですか？と問う。なかなか再生可能エネルギーにはたどり着かない。

(石垣幸子)